JSONデータ出力手順





JSONとは





### 01-01 : JSONとは

JSON(ジェイソン、JavaScript Object Notation)は軽量なデータ記述言語の1つです。

JavaScriptにおけるオブジェクトの表記法を応用したオープンなテキストベースのデータ形式であり、アプリケーションで構造化された情報をテキストとしてやりとりする必要があ るほぼ全てのシナリオにおいて用いることができます。

また、数多くのプログラミング言語でJSONを、簡単に操作できるようにする追加機能などが公開されており、様々なソフトウェアやプログラミング言語間におけるデータの受け 渡しに使えるよう設計されています。一般にはWebブラウザ・クライアントでXMLの代わりに使用されます。

※詳細は下記のリンクをご参照ください。

http://ja.wikipedia.org/wiki/JavaScript\_Object\_Notation

RCMS内のデータをJSONデータとして出力し、スマートフォンアプリ内に取り込みます。RCMSではHTMLを作成するのと同じような感覚で、JSON用のテンプレートを作成できます。



RCMS

スマートフォンアプリ

### 01-02 : JSONのメリット

JSONにはデータサイズを軽量化するメリットがあり、ユーザーやコンピューターに判読かつ編集しやすいという特徴があります。

また、多くの言語でサポートされているため再利用性が高いです。

#### データ軽量化による処理速度の向上

同じ内容のデータであってもJSONはXMLと比べてデータサイズが 小さいです。 そのため、クライアントとサーバー間の冗長な ネットワーク上の通信量が軽量化されます。

通信量の軽量化によってネットワーク間の処理速度を 速めることが可能です。 可読性

タグを反復し、複雑な構造で構成されるXMLに比べ、 JSONはテキスト形式であり、非常にシンプルな構造で 構成されています。そのため、人にもコンピューターにも 判読しやすい特徴があります。

XMLほど手順を踏む必要はなく、直接的にデータを扱うことができ、データをパースする処理の記述を 大幅に軽減することができます。

JSON

#### 再利用性·汎用性

JSONの構文はJavaScriptにおけるオブジェクトの 表記法をベースとしていますが、JavaScript専用の データ形式ではありません。

ほとんどの言語において、単純な処理によってJSONは 書き出しや読み込みができるため別言語での再利用が 可能です。ECMA標準のObject/Array形式で 保存するため汎用性があります。 JavaScriptとの高い親和性

JSONはJavaScriptのオブジェクトベースのため、 JavaScriptとの親和性が非常に高いです。

eval()関数という関数によってJavaScriptオブジェクトに 変換することができるという特徴があります。 この関数は引数で渡された文字列を JavaScriptコードとして評価し、その結果を返します。



# 出力するコンテンツを設定する





#### 02-01:ページの設定

RCMSではページ毎にJSONデータを出力する or しないを、各ページの設定から行えます。

#### ▼ 管理画面(サイト基本設定>ページ構成>各ページの「設定」)

🍐 ページ設定編集		<ul> <li>●ページ追加</li> <li>● コピー</li> <li>サイトを確認</li> </ul>		
<ul> <li>ナイト基本設定&gt;&gt; ページ構成&gt;&gt; ページ一覧&gt;&gt; ページ設定編集</li> <li>○ 基本設定</li> <li>○ コンテンツ設定</li> <li>○ 配置</li> <li>○ CSS編集</li> </ul>				
<ul> <li>▶日本語(作成済) ▶英語(未作成) ▶翻訳者へ依頼する</li> <li>※必須</li> </ul>				
基本設定				
ページ名 ※	お知らせ - ♥ わかりやすい名称を設定しまし	(ページID:1000017) しょう。		
ディレクトリ名(URL)	http://	.r-cms.biz/topics_list1/		
	ディレクトリ名(エイリア ス)	http:// ).r-cms.biz / / ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	転送先URL	。 ?@:/example/やhttp://www.example.com/のように入力してください。		
親ページ ※	ТОР	T		
段組・レイアウト ※	2段組左メイン •			
閲覧権限	<ul> <li>●制限しない</li> <li>●制限する</li> <li>○制限する(パスワード入力必須)</li> <li>選択なし</li> <li>管理者</li> <li>記事編集権限</li> <li>OB会員</li> </ul>			
表示設定	<ul> <li>図サイトマップ</li> <li>→ ニュー</li> <li>□ ヘッダサブメニュー</li> <li>図 フッターメニュー</li> <li>図 有効</li> <li>図 携帯</li> <li>図 スマートフォン</li> <li>□ スマホアプリ</li> <li>図 JSON</li> <li>○ ッダフッタ非表示</li> <li>□ サイトマップリスト表示</li> </ul>			
メタ情報	METAタイトル META説明文 METAキーワード	DNデータを出力するページに、 ックを入れます。		
<ul> <li>● 真新する</li> <li>● 削除する</li> </ul>				



### 02-02:コンテンツ毎の設定

ページに設定しているコンテンツ毎に、JSONデータを出力する or しない を、各ページの設定から行えます。なお、JSONデータを出力できるコンテンツは、テンプレート編集が可能なコンテンツが対象です。

▼ 管理画面(サイト基本設定>ページ構成>各ページの「設定」)

化ージ設定編集		ページ追加 ● コピー サイトを確認 ●		
サイト基本設定 >> ページ構成 >	>> ページ一覧 >> ページ設定編集			
○ 基本設定 ○	<ul> <li>コンテンツ設定</li> <li>配置</li> <li>CSS編集</li> </ul>			
※必須 ♀️ 携帯用表示順はページ内で小さい順に並びます。				
メインコンテンツ設定				
コンテンツ ※	□ 記事	▼ >>覧用 ▼		
パラメータ	data_format:json[cnt]=300	help		
独自タイトル				
携帯・表示順:	2 JSON			
	JSONデータを出力したいコンテンツに、 チェックを入れます。			

■ data\_format:json[cnt]: 一覧ページでの表示数をJSONのみ設定できます

【例】JSONは30件、pcは10件表示にしたい場合

data\_format:json[cnt]=30&cnt=10

※指定がなければ、通常のcntの値が適用されます。

ホームページの表示件数は変更せず、JSONデータは公開中の記事を全件取得したい場合などにご利用ください。



テンプレートのカスタマイズ





## 03-01:テンプレートのカスタマイズ

JSONデータを出力するためには、テンプレートをJSON用にカスタマイズする必要があります。追加方法や作成方法はHTMLのテンプレート編集と同じ感覚で作成できます。

▼ 管理画面(サイト基本設定>ページ構成>各ページの「設定」)





## 03-02 : テンプレート編集

テンプレート編集はHTML用のテンプレートを参考に作成してください。記事一覧のテンプレートを例として基本的な記述方法を説明します。

▼ テンプレートの種類:モジュール:記事 コンテンツ:一覧 テンプレート:一覧用 デバイス: JSON用





### 03-03: JSONデータの確認

#### URLの後ろに「?data\_format=json」というパラメータを付けて、JSONデータを確認します。パラメータを付けたときに表示するソースを「JSONLint」などに貼り付けて、エ ラーが出ないかを確認してください。

#### ? data format=jsonパラメータを付けたときの表示

